

令和二年五月

第三十回

俳人協会秋田県支部俳句大会

主催 俳人協会秋田県支部

特定選者

俳人協会幹事

季刊同人誌「晶」代表

長 嶺 千 晶 先生

秋田県支部

「春燈」同人

園 部 落 郷 氏

「天為」同人

伊 藤 慶 子 氏

「香雨」同人

熊 谷 尚 氏

講師選・特定選者選・互選高点句一覽

長嶺千晶先生選

特選 白神の櫛の目覚むる木の芽雨

同 初蝶を生み出す風の力かな

秀逸 砂日傘本音語れず波の音

同 夕霞多喜二の郷は灯を早む

同 鳥海山に深く一礼農始

佳作 鎮魂の灯の冴え返る浜辺かな

同 旅に買ふデニムのバック夏に入る

同 世の波になじまぬ父の日なりけり

同 遺句集に日矢の一条新樹燃ゆ

同 手を洗ふことにも馴れて弥生かな

同 末つ子の弟となる子猫かな

同 また一つ泡より落ちて蝌蚪泳ぐ

同 海豹の哺乳ほのぼの春日さす

同 湯波の光り親しき夏はじめ

同 花屑を吐き出す鯉の波紋かな

園部 落郷選

特選 古時計振り子ゆつくり日脚伸ぶ

秀逸 寝転べば空広がりぬ春の草

大橋 風太

斎藤 淳子

伊藤恵美子

塚本 佐市

加藤 一弥

米屋 道子

高田 洋子

小林 呼溪

木村 登龍

伊藤 青砂

遠山せつ子

鎌田 麗子

天野美奈子

渡邊 雷夢

加瀬谷敏子

石川 一風子

大橋 風太

同 鳥帰る光の棒となりきつて

佳作 登るほど鳥語かしまし春の山

同 行く春や一年毎といふ齡

同 かうかうと畑人に声帰白鳥

同 しゃぼん玉素敵な嘘をつくやうに

同 旅行けば出羽も津軽も田植終ふ

伊藤慶子選

特選 啓蟄や埴輪声なき声を秘む

秀逸 泰然と舞ふ鳶一羽春の風

同 鳥雲に藍染めの藍手に残る

同 手作りの紙漉き卒業証書かな

佳作 遺句集に日矢の一条新樹燃ゆ

同 一筋の川一筋の光る風

同 木の芽晴介護士の声弾みくる

同 師の恩のふかきをいまに春の夜半

熊谷 尚選

特選 郭公の鳴くや約束果すごと

秀逸 返信に返信重ね夜のぬくし

同 棟上げの手締めのひびく木の芽晴

佳作 雲のゆく方に故郷草の笛

同 初夏の風を従へ大漁旗

同 春昼やゆつくりまはす万華鏡

斎藤 淳子

岩谷 塵外

安倍 幸一

伊藤 杯紅

遠藤 史都

佐藤 悠水

塚本 佐市

藤井 淳一

塚本 佐市

瀬田川 博子

木村 登龍

熊谷 尚

佐々木あや子

佐藤 悠水

安倍 幸一

木村 登龍

伊藤 慶子

木村 登龍

松井 憲一

宇佐見レイ子

同 初蝶を生み出す風の力かな
斎藤 淳子
同 花冷えや秋田舞妓の立ち稽古
加藤 一弥

互選の得点順位（七点まで十句）

一席	⑫ 遠足の列よろこばす牛の声	佐々木公平
二席	⑨ 初夏の風を従へ大漁旗	松井 憲一
二席	⑨ また一つ泡より落ちて蚪蚪泳ぐ	鎌田 麗子
二席	⑨ 鳥帰る光の棒となりきつて	斎藤 淳子
五席	⑧ はらからの眠る大地へ鳥帰る	佐々木踏青子
五席	⑧ 鳥海山に深く一礼農始	加藤 一弥
七席	⑦ 春昼やゆつくりまはす万華鏡	宇佐見レイ子
七席	⑦ 行く春や一年毎といふ齡	安倍 幸一
七席	⑦ 児の丈に踟みて渡す雛あられ	藤原よう子
七席	⑦ 一筋の川一筋の光る風	熊谷 尚

【採点方法について】

- 1 特定選者は、特選三点、秀逸二点、佳作一点として互選
点に加点しました。
- 2 採点集計は、泉千穂子・佐藤茂樹・佐藤景心が当たりま
した。